

鶴見岳・伽藍岳の火山活動解説資料（平成 22 年 11 月）

福岡管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 11 月の活動概況¹⁾

・噴煙など表面現象の状況（2 図）

噴煙は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況

火山性地震や火山性微動は観測されませんでした。

1) 鶴見岳・伽藍岳では、平成 22 年 11 月 1 日から湯山観測点および石垣遠望カメラ（大分県）による観測を開始しました。

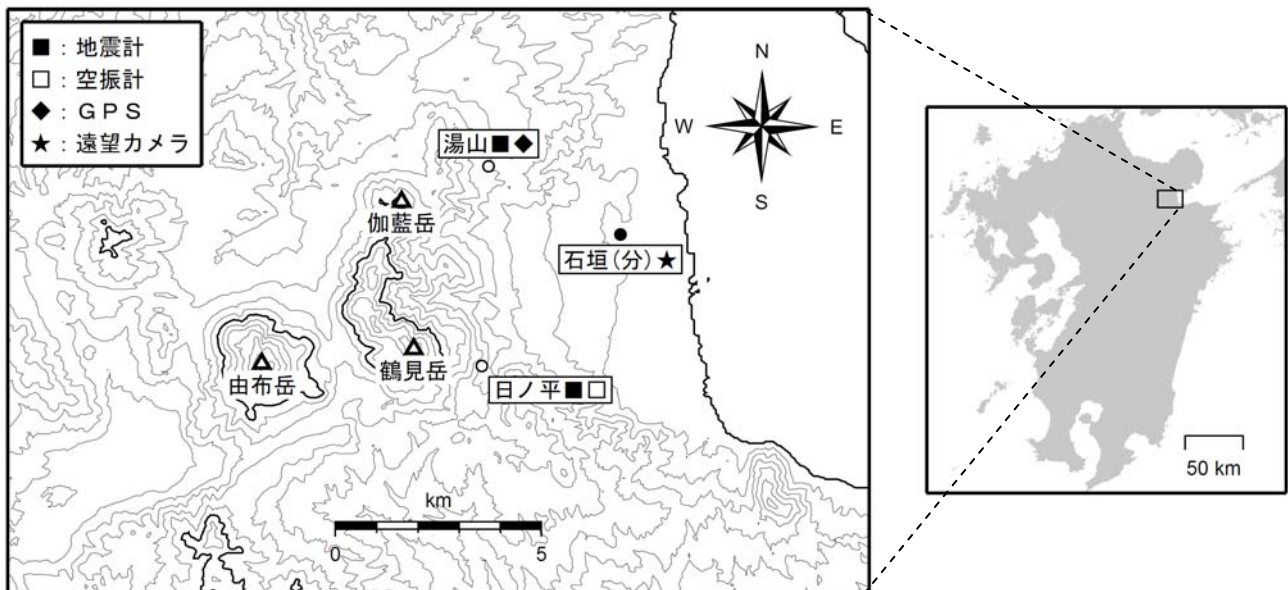


図 1 鶴見岳・伽藍岳 観測点配置図

小さな白丸は气象台、小さな黒丸は大分県の観測点位置を示しています。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 12 月分）は平成 23 年 1 月 7 日に発表する予定です。

※この資料は気象庁のほか、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。



図 2 鶴見岳・伽藍岳 遠望カメラによる映像（12月7日09時30分頃）

大分県別府土木事務所の提供による映像